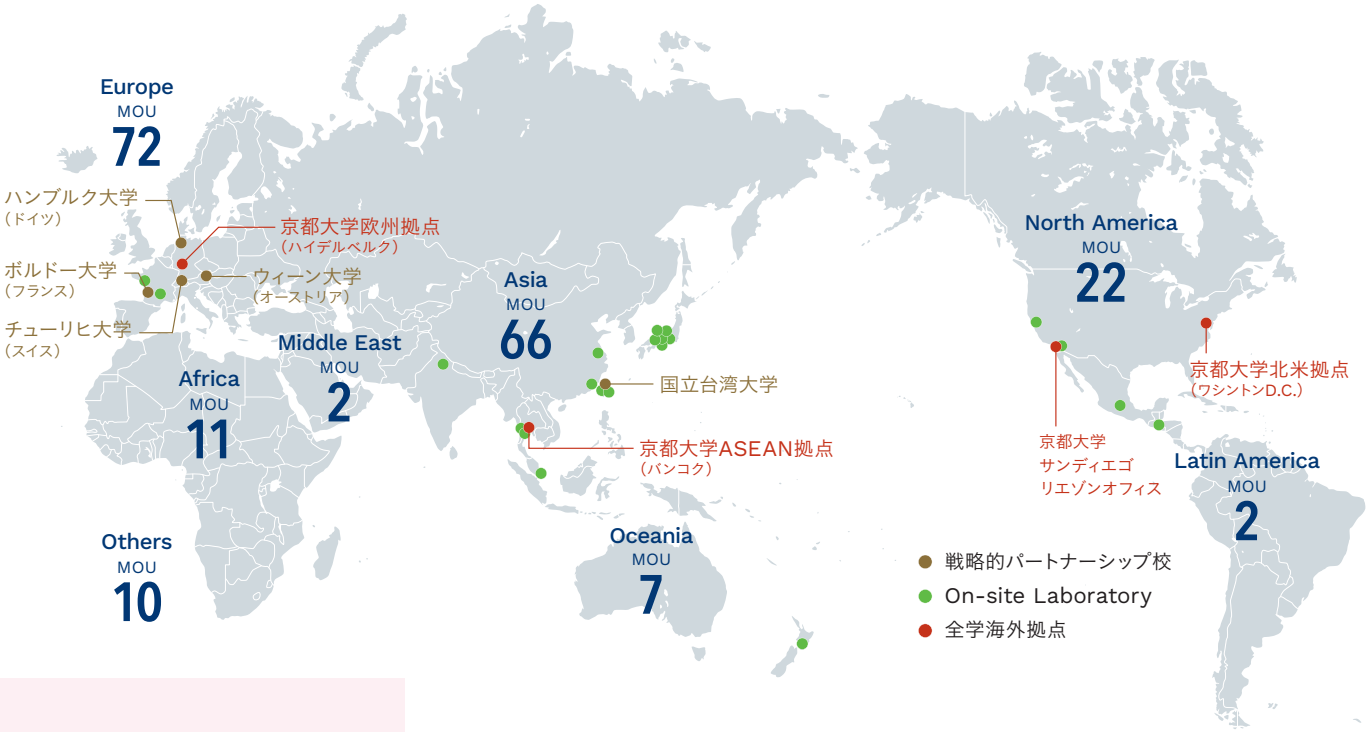
世界トップレベルの大学・研究機関との戦略的な学術連携

より実質的で恒常的な国際共同研究の強化へ

本学は、海外における研究や教育及び学生や教職員の国際交流を支援する国際活動拠点として、全学海外拠点（ドイツ、タイ、米国）を含め世界各国に数多くの海外拠点やフィールドステーション等を設置しています。
また、世界各国の主要大学・機関と学術交流協定（MOU）を締結するとともに（176大学2大学群14機関）、世界に卓越した大学のうち、活発な研究交流を分野横断的に展開させ、新たな学術分野での共同研究や人材の流動性を促進するため、学長（執行部）レベルでの合意に基づいて連携を強化していく「戦略的パートナーシップ校」に5つの大学（ウィーン大学、ボルドー大学、チューリヒ大学、ハンブルク大学、国立台湾大学）を認定しています。
さらに、海外の大学や研究機関等と共同で設置する現地運営型研究室「On-site Laboratory」を運営し、海外機関等との活発な研究交流や世界をリードする最先端研究を推進するとともに、優秀な外国人留学生の獲得、産業界との連携の強化等、本学が世界の有力大学に伍して第一線で活躍するための基盤や体制を強化しています。



大学間学術交流協定 192

戦略的パートナーシップ校 5

海外拠点等（部局設置） 66

On-site Laboratory 16

（2026年4月1日現在）



チューリヒ大学ー京都大学 戦略的パートナーシップ ジョイントシンポジウム2026
（2026年2月4日～6日）



フランスにOn-site Laboratory「無機エネルギー材料」を設置
（2025年11月）